

# 北海道百名山

北海道の長  
連盟の  
北海道  
山岳地政美会  
阿山阿地政美会  
<32>



南方からピリカヌプリを望む。名前の通り、おおらかで美しい姿をしている。遠方は神威岳。1998年5月撮影

北海道の背骨のように南  
北120キロにも及ぶ日高山  
脈。その南部に位置するピ  
リカヌプリは、アイヌ語で  
「美しい山」を意味する。  
その名の通りひときわ目を  
引く雄大で優美な山容、さ  
らに登路となる元浦川、春  
別川、中の川、又ビナイ川  
それぞれの溪谷美、加えて  
登行の困難なことも知ら  
れている。

## 初登は1928年

厳冬季、北面から眺める  
三角形の頂上は、純白に輝  
いてピリカの名を裏切らな  
い。登山史でいう初登は1  
928年(昭和3年)8月、  
北大山岳部の高橋喜久司ら  
が又ビナイ川を遡行(そこ

う)して成功した。冬は35  
年暮れ、同僚正雄らがトヨ  
二岳を経由して頂を踏ん  
だ。  
日高山脈初期の登山史  
は、そのまま北大山岳部の  
歴史に重なる。その集大成

## 雄大かつ優美な山容

が56年(昭和31年)12月か  
ら1月にかけて行われた、  
積雪期の全山縦走だっ  
た。これから以後、日高山  
脈はバリエーション(より  
困難な登路)の時代に入る。  
私は部員80数人を擁し、全  
盛期ともいえるこの時代の  
山岳部員として、日高を何  
度もなく訪れた。  
数回の氷河期に形成され

た23余のカルル(圏谷)。  
峻険(しゅんけん)で、深  
く谷が切れ込んだ稜線(り  
ょうせん)に囲まれ点在す  
るカルル(底地)  
は、お花畑に覆われ、水が  
あり新も得やすく、われわ  
れに貴重なキャンプ場を提  
供してくれた。稜線の多く  
は密生したハイマツ、岳樺  
(だけかんぼ)などの低木  
に覆われている。1時間で  
2000~3000歩しか進め



登山ルート 登山道はない。夏季は又ビナイ川を詰め、3泊4日でソエマ  
ツ岳も併せて登る。沢登り、高巻き、ルートファインディングに確かな技術  
を要する。ザイル、ハーケン、ハンマーが必要。約7時間で上二股に着く。  
テント数張分の平地があるが、増水時は危  
険。翌日、左手のピリカヌプリに向かう沢  
へと入り、約4時間で頂上に立てる。  
積雪期の一般路は豊似川からトヨ二岳1  
4920の東尾根を登り、日高最南カル  
ルの平らな尾根に設営する。翌日、トヨ二岳  
を越え、約6時間かけて頂上に立つ。  
(2万5000分の1地形図「トヨ二岳」  
「ピリカヌプリ」「神威岳」「又ビナイ川  
上流」)

## 何物にも替え難い

大雨となれば、川の水位は  
短時間でメートル単位で上  
昇した。  
だが困難を乗り越えて頂  
上立ち、火の煙と汗のにお  
いが染み込んだ破れた衣  
服で眠りにつくときの充実  
感、沢の微(かす)かな歌  
声を聞き、山脈特有の花に  
出合い、国境稜線を渡る風  
に吹かれる喜びは何物にも  
替え難いものだった。  
ただ南日高とはやや疎遠  
で、長年の念願だったピリ  
カヌプリを登ったのは86年  
(昭和61年)8月だった。  
設、初代キャンプテンを  
移めた。以来ずっと現  
役のつもりだが、8月  
末、漁(いざり)岳の  
美しさは、目を見張るも  
のだった。88年(昭和63年)  
5月には、北大の山仲間と  
一緒に豊似川を遡行。トヨ  
二岳手前のカルルに暮営  
を痛感した。だが美し  
し、翌日、長い稜線をたど  
り又ビナイ川から、ピ  
リカヌプリをもう一度  
登りたい。これをいま  
念願している。  
私の山は、札幌一条中時  
代の昆虫採集が始まりだっ  
た。札幌高に入学し、クラ  
岳会、精神科医師、札  
スメートルと札幌近郊の山を  
響(きこ)クラブ佐々木幸雄)

ピリカヌプリ (1631.2m)